

研究課題名	重症コロナ肺炎患者の気胸、縦隔気腫合併に関する調査
研究の意義・目的	2020年初頭よりCOVID-19肺炎は世界中で急速に広まり、当施設では3次救急及び集中治療を担っている救命救急センターが主となり、第1波から気管挿管した重症COVID-19肺炎治療を開始しました。重症COVID-19肺炎の治療では、しばしば人工呼吸器関連肺障害を引き起こし、気胸、縦隔気腫を発症することがあります。気胸、縦隔気腫を発症すると、さらに治療に難渋することになります。当院で治療した重症COVID-19肺炎患者さんの気胸、縦隔気腫の発生率と死亡率を調査し、治療との関連を明らかにすることで今後の治療に貢献できると考えています。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日-2024年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	当院で2020年4月から2021年5月に重症COVID-19肺炎を治療した方のうち、気胸、縦隔気腫を発症した方
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：年齢、性別、既往歴、気胸・縦隔気腫発症エピソード、気胸・縦隔気腫発症時期、転帰、人工呼吸設定（気道閉塞圧 P0.1、一回換気量、最高気道内圧）
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターのみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 宮下 昌大
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科救急医学 病院講師 宮下 昌大 Tel: 06-6645-3987